

## J Aバンク東京における地域密着型金融の取組状況（2018 年度）

J Aバンク東京（都内 14 J A と東京都信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、J Aバンク東京中期戦略（平成 28～30 年度）に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

2018 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

### 1 都市農業等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

#### （1）農業融資商品の適切な提供・開発

各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

2019 年 3 月末時点の農業関係資金貸出残高<sup>(注1)</sup>は 3,065 百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>(注2)</sup>残高は 225 百万円を取扱っています。

(注)

- 1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。
- 2 J Aバンク東京が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

#### 【営農類型別農業資金残高】 (単位：百万円)

	2019 年 3 月末現在
農業	2,662
穀作	0
野菜・園芸	369
果樹・樹園農業	15
工芸作物	18
養豚・肉牛・酪農	43
養鶏・鶏卵	361
養蚕	0
その他農業	1,855
農業関連団体等	402
合計	3,065

(注)

- 1 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。
- 2 「農業関連団体等」には、J A や全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	2019年3月末現在
プロパー農業資金	2,855
農業制度資金	209
農業近代化資金	209
その他制度資金	0
合 計	3,065

(注)

- 1 「プロパー農業資金」とは、J Aバンク原資の資金を融資しているうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJ Aバンク東京が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJ Aバンク東京が低利で融資するものを対象としています。
- 3 「その他制度資金」には、農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種 類	2019年3月末現在
日本政策金融公庫資金	225
合 計	225

(注) J Aバンク東京では、主にJ Aを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

J Aバンク東京は主要な農業関係の制度資金である、「農業近代化資金」について、都内金融機関で唯一取扱いができる金融機関であり、トップシェアとなっています。また、日本政策金融公庫資金（公庫直貸除く）についても取扱っております。

【東京都の農業近代化資金の取扱いシェア】

農業近代化資金 融資残高シェア  
(2019年3月末時点)



## (2) 担い手のニーズに応えるための取組み

地域の農業者のニーズに応えるため、JAでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、2018年度末時点で都内14JAの本店に15名・信連本店に2名を設置しております。

また、JA系統独自の農業融資資格制度「JAバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は2018年度末時点で都内に143名在籍しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

## (3) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

JAバンクでは、JAの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンクCS調査）を行っています。

得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

## 2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

### (1) 次世代農業者の育成支援

新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等の融資商品や新規就農者の育成支援にかかる助成事業として新規就農応援事業（営農支援事業・研修支援事業）を取り扱っています。

#### 【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】（単位：件、百万円）

	2018年度 実行件数	2018年度 実行金額	2019年3月末 残高
青年等就農資金	7	33	43
その他	2	1	1
合計	9	34	44

#### 【新規就農応援事業の取扱い実績】（単位：件、百万円）

	件数	助成金額
営農支援事業	19	3
研修支援事業	20	9
合計	39	13

(注)

- 1 営農支援事業とは、新規就農者を対象に農業経営にかかる費用に対して助成金を支払う事業です。
- 2 研修支援事業とは、新規就農前の研修生を受け入れている農業者を対象に研修にかかる費用に対して助成金を支払う事業です。

## (2) 研修会・セミナー等の開催・参画

農業経営に関する研修会・セミナー等を開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

### 【2018年度 研修会・セミナー等開催・参画状況】

研修会・セミナー名	開催日	主催者	参加者	内容
生産緑地制度の概要 都市農地の保全説明会	2018年 7月1日 8日	J A西東京	正組合員 および その家族 140名	・生産緑地制度の概要 都市農地の保全説明会
特定生産緑地法と農地 保全説明会 (瑞穂・羽村・福生地区)	2018年 7月9日 11日 12日	各市・町 農業委員会 J Aにしたま	農業者等 281名	・特定生産緑地法と農地保全について
遺言セミナー	2018年 7月10日	J Aあきがわ	農業者等 9名	・「相続と遺言」の基礎知識
相続に関するトラブル 事例研修会	2018年 10月28日	J A西東京	正・准組合員 および その家族 91名	・相続に関するトラブル事例
特定生産緑地と 都市農地貸借の概要	2018年 11月13日	J A八王子	組合員 233名	・特定生産緑地と都市農地貸借の概要
農業経営セミナー	2019年 1月22日	東京都農業法人協会 東京信連	農業者等 70名	・都市農地貸借円滑化法を活用した新たな農業経営形態について ・労務管理の基本～労務者が安心して働ける職場作りのために～ ・知っておきたい法律と法人設立の基礎知識について
「民法（債権法）改正、 賃貸経営はどうなる？」 講演会	2019年 1月31日	J Aにしたま	組合員 157名 役職員 37名	・「民法（債権法）改正、 賃貸経営はどうなる？」 講師：深沢総合法律事務所 代表弁護士 柴田 龍太郎先生
改正生産緑地法説明会	2019年 2月4日 6日	J Aあきがわ	農業者 計103名	・改正生産緑地法について
組合員大学専門講座	2019年 2月14日	J A東京むさし	正組合員 30名	・相続税納税資金融資等について

## (3) 農業法人とのネットワーク拡大

東京都農業法人協会とともに「農業経営セミナー」（2019年1月）を開催し、「新たな都市農地制度と今後の農業経営」と題し、講演会にて労務管理・法人設立の基礎知識等、情報提供を行いました。また、農業法人への土地情報の提供等、金融取引以外の面からも支援等行っております。

#### (4) 経営不振農家の経営改善支援

負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

#### 【2018年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先①	0	0	—	0	—	—
要注意先	うち その他要注意先②	0	0	0	—	—
	うち 要管理先③	0	0	0	—	—
破綻懸念先④	1	1	1	0	100.0%	100.0%
実質破綻先⑤	0	0	0	0	—	—
破綻先⑥	0	0	0	0	—	—
	小計 (②～⑥の計)	1	1	1	100.0%	100.0%
	合計	1	1	1	100.0%	100.0%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は2019年3月末時点のものです。

### 3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底 担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

#### (1) 資本供与の取組み（ファンドの活用）

東京都農業法人協会会員や都内農業法人に対し、ファンドを紹介し、農業振興や環境に貢献する取組を行う企業の成長を支援しています。

### 4 都市農業等地域育成への貢献

地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

#### (1) 食・農への理解促進

地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、2018年度には都内の小学校1,363校の5年生を対象に123,072冊配布し、学校の授業等において活用されています。

また、都内JAでは、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	活動内容
西東京	あぐりキッズスクール	ジャガイモ等の種まき・収穫
にしたま	親子農業体験	さつまいもの植付・収穫
あきがわ	あぐりスクール	親子を対象とした農業体験
八王子	学童農園	農業体験
東京みなみ	夏休みこども村	農業学習、収穫体験
町田市	学童農園設置事業	稲作体験
マインズ	農業体験	ジャガイモ等の種まき・収穫
東京みどり	稲作体験	稲作体験
東京みらい	地場産野菜収穫体験	さつまいも収穫体験
東京むさし	学童農園	収穫体験発表、収穫物の展示
東京中央	屋上田んぼ教室	田植え、稲刈り
世田谷目黒	給食から学ぶ	地場産野菜（大根）の提供 区内の農業について学ぶ
東京あおば	GO!GO!農業探検隊!!	農業学習、収穫体験
東京スマイル	学校給食への食材提供	地場産野菜（小松菜）の提供

(2) 生産者と消費者をつなげる場の設置

生産者と消費者をつなげる交流イベント「東京農林水産フェア」(2018年10月27日)において共催企業として参加・協力しております。

都市農業の発信を目的とした当会主催イベント「東京が誇る多摩・島しょ特産日フェア～TAMASHIMAの恵み～」(2018年8月7日～11日)と題し、特産品の紹介・販売を行い、東京農業の存在や魅力を発信しました。



### (3) 地域貢献事業への取組み

春に東京都が実施している「緑の東京募金」へ寄付することを目的とした、「緑がいっぱい定期貯金」を取扱い、お預入れいただいた額の一部となる 320 万円を寄付いたしました。

また、秋には J A 管内の各自治体へ寄付することを目的とした、「おもいやり定期貯金」を取扱い、お預入れいただいた額の一部を J A 管内の各自治体へ寄付いたしました。

**緑がいっぱい定期貯金**

**取扱期間**  
平成 30年 4月 2日 ▶ 平成 30年 5月 31日

お預入れいただいた額の 0.01% 相当額を「花と緑の東京募金」へ寄付いたします。  
お客様のご負担はございません。

**店頭表示金利** **プラス** 年 **0.05%** 上乗せいたします。

**高利優遇**  
対象商品 スーパー定期貯金(単利型) 預入方法 一括預入・証券式または通帳式  
対象年齢 個人の方に限ります。 預入金額 10万円以上(1円単位)  
期間 1年(自動継続扱い) 申込条件 申込解約については、所定の解約利率が適用されます。  
※詳しくはお近くのJAへお問い合わせください。  
※事業継続費 320万円の募金活動中であっても、東京都のJA全体で事業継続に資した際には、お預入れも募りさせていただきます。

JAバンク東京

**おもいやり定期貯金**

**取扱期間**  
平成 30年 9月 3日  
平成 30年 10月 31日

お預入れいただいた額の 0.01% 相当額を福祉等地域社会への貢献を目的として J A 管内の各自治体等へ寄付いたします。  
お客様のご負担はございません。

**店頭表示金利**  
**プラス** 年 **0.05%** 上乗せいたします。

**高利優遇**  
対象商品 スーパー定期貯金(単利型) 預入方法 一括預入・証券式または通帳式  
対象年齢 個人の方に限ります。 預入金額 10万円以上(1円単位)  
期間 1年(自動継続扱い) 申込条件 申込解約については、所定の解約利率が適用されます。  
※詳しくはお近くのJAへお問い合わせください。  
※事業継続費 320万円の募金活動中であっても、東京都のJA全体で事業継続に資した際には、お預入れも募りさせていただきます。

JAバンク東京

以上